

1. 件名：「保障措置実施に係る連絡会（第2回）」

2. 日時：平成31年4月24日（水）14時00分～16時15分

3. 場所：原子力規制庁13階会議室A

4. 出席者：

片山核物質・放射線総括審議官

原子力規制庁長官官房放射線防護グループ保障措置室

有賀保障措置室長、石井首席査察官、筒井室長補佐、中島制度設計専門官、  
佐藤（文）室長補佐、株木室長補佐、鈴木査察官、佐藤（学）査察官、河本査察専門職、  
山田査察専門職、栗林国際規制物資係長、菅原査察専門職、大塚総括係長、  
有吉技術参与、白鳥技術参与、増山原子力規制専門員

北海道電力株式会社 泊発電所 所長代理 他1名

東北電力株式会社 東通原子力発電所 副所長 他2名

東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 部長  
他2名

中部電力株式会社 浜岡原子力発電所 プラント運営部 部長 他1名

北陸電力株式会社 志賀原子力発電所 発電部 発電部長 他1名

関西電力株式会社 美浜発電所 運営統括長 他5名

中国電力株式会社 島根原子力発電所 技術部 部長 他1名

四国電力株式会社 本店 原子燃料部 技術グループリーダー 他1名

九州電力株式会社 本店 原子力発電本部 原子力技術部長 他3名

日本原子力発電株式会社 本店 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ  
マネージャー 他2名

日本原燃株式会社 再処理事業所 再処理事業部 核物質管理課長 他1名

リサイクル燃料貯蔵株式会社 技術安全部 青木取締役 技術安全部長 他1名

原子燃料工業株式会社 本社 品質・安全管理室 室長 他2名

三菱原子燃料株式会社 副工場長（執行役員） 他1名

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 環境安全部 担当課長

京都大学 複合原子力科学研究所 川端所長・教授 他1名

東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力技術研究所 所長 他1名

東京大学 大学院工学系研究科原子力専攻 専攻長 他2名

近畿大学 原子力研究所 教授 他1名

日本核燃料開発株式会社 土山代表取締役社長 他1名

ニュークリア・デベロップメント株式会社 山口取締役 原子力3S統括者 他1名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括部 部部長  
他 2 1 名

電気事業連合会 原子力部 副長

公益財団法人核物質管理センター 下村理事長 他 3 名

## 5. 要旨

- (1) 当庁より、我が国原子力活動における保障措置の重要性や IAEA 保障措置の現状と今後の課題、人材確保の必要性等について説明を行った。また、現在実施している保障措置活動の効率的かつ効果的な実施体制を引き続き維持していることについて、各事業者の協力を重ねて依頼した。その後質疑応答を行った。
- (2) 公益財団法人核物質管理センターより、保障措置活動における当該センターの役割について説明を行った。
- (3) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構より、廃止措置施設における廃止措置に向けてのロードマップ及び廃止措置実施中の保障措置活動の内容について説明を行い、その後質疑応答を行った。
- (4) 中部電力株式会社より、浜岡原子力発電所 1、2 号機の廃止措置の実施の概要や廃止措置実施中の保障措置活動の内容について説明を行い、その後質疑応答を行った。
- (5) 当庁より、本連絡会のまとめを行った。

## 6. その他

配付資料：

- 【資料 1】 IAEA 保障措置の現状と今後の課題について
- 【資料 2】 保障措置検査の効果的・効率的な実施のために
- 【資料 3】 廃止措置施設における保障措置（規制庁及び IAEA との協力）
- 【資料 4】 廃止措置施設における保障措置について
- 【資料 5】 本日の講演のまとめ（※説明会当日は表示のみ）